

# 文藝と思想

## 第60号

---

「四つ仮名」について —— 国語史的観点から ——	鎌倉暄子	1
定家歌学における『五代簡要』の位置 (一) —— 『奥入』への視座 ——	今井明	13
朱舜水と安東省庵 —— その思想上の影響の一端 ——	足田啓佑	25
翻刻『源氏拔書』(上) —— 桐壺～明石 ——	田坂憲二	37
近代漢語の一考察 —— 洋学資料に於ける「勉強」の用例から ——	坂本浩一	(139)
1 次的リハーサルと 2 次的リハーサルの違い —— 検索時間からの検討 ——	山口快生	(127)
ニーチェにおけるユダヤの問題	恒吉良隆	(103)
<i>A Pair of Blue Eyes</i> におけるハーディの時間操作とヒロイン	吉田徹夫	(89)
バラッド詩の系譜 (3) —— 編者の功罪: <i>The Child of Elle</i> —— (Appendix: Poets on the Ballad (6) —— Thomas Percy and William Wordsworth)	山中光義	(65)
存在構文の <i>Daer</i> とその指示性	杉山隆一	(55)
シンクレア・ルイス: 『バビット』(1922) —— バビットの夢と都市生活 ——	馬場弘利	(37)
ウィラ・キャザーの『教授の家』: 成功のパラドックス	酒井三千穂	(21)
Whitman のフェミニスト的言説の二重構造	吉崎邦子	(1)
彙報		64
目録		(152)

---